

◆ おらほの地域から元気発信 ◆

まちづくりなみえ 地域づくり支援専門員が見た浪江地区

地域の紹介 浪江地区

浪江地区は避難指示解除後にクリーン作戦や花植え、防災訓練など地域活動の取組を行ってきました。現在、年間を通して様々な地域活動が住民参加のもと行われています。

高瀬や川添、樋渡・牛渡の行政区では、地域の拠り所である神社仏閣が再建されたことで、盆踊りや例大祭などの地域行事が復活する動きがあり、震災と原発事故以前に見られた季節の風景が戻りつつあります。また、近年では、移住した人も積極的に地域の輪に入り、地域を支える姿が見られるようになりました。



上ノ原行政区の花植え

権現堂1区から8区までの行政区においては、居住者が少ないなかで住民自治を進めていくために、8つの行政区で定期的に区長会を開催し情報交換を行いながら、行政区の枠を超えて協働で地域活動を行っています。

毎年冬季に実施している浪江駅前のイルミネーションもその地域活動のひとつです。夜間暗い駅前を明るく彩ろうと、権現堂の区長が中心となり始まりました。今年は駅前だけでなく、駅周辺にもイルミネーションスポットを広げるそうです。

12月6日(火)、17時45分から浪江駅前において点灯式が開催されます。鮮やかな光で彩られた駅前にぜひお越しください。



昨年開催した浪江駅前の点灯式

地域づくり支援専門員
東 あすかがレポート
しました。



町のできごと 町営住宅 2つの自治会

それぞれの交流会

9月3日(土)、2年前に発足した幾世橋住宅団地『らいふく自治会』が開催した「防災の集い」では、幾世橋防災コミュニティセンター内を見学し、防災について意見を交わしました。

また、今年新たに発足した請戸住宅団地『海の観える丘自治会』では、10月2日(日)、初のイベントを開催し、福島いこいの村なみえにおいてバーベキューを楽しみました。



子どもからお年寄りまで参加



テーブル毎、防災の意見交換を実施



地域づくり支援専門員
引地裕子がレポート
しました。

